

わくわく・どきどき一年生 小・中学校で入学式



満開の桜が咲く中、平成29年度入学式が、4月10日に町内の小・中学校で行われました。返事の音が響きました。式典終了後は、一つ先輩となる2年生のアトラクションが披露されました。学校生活の様子を歌やダンスで紹介し、「わからな

いことや困ったことがあつたら何でも聞いてください」と新入生の入学を歓迎しました。式典に緊張の面持ちだった新一年生によろやく笑顔ができました。これから始まる学校生活への期待にきらきらと瞳が輝いていました。

安全に通学を！

老人クラブがマスコット贈呈

大山町老人クラブ連合会大山支部は、毎年大山西小学校と大山小学校の新1年生に交通安全マスコットをプレゼントしています。贈呈式が4月13日に行われ、大山西小学校42人、大山小学校10人の新1年生に交通安全マスコットを手渡ししました。子どもたちから、感謝の言葉と拍手を受けて、大山支部の皆さんもうれしそうです。このマスコットは、新入生が安全に通学できるようにという願いを込め、大山支部の女性会員が講師に教わって手作りしたものです。マスコットの贈呈は、15年前から行われており、今後も大山支部の活動として続けていくとのことです。



◀「かわいいね」大喜びの一年生

「伯耆国開山1300年祭」 菜の花でPR

遠藤光則さん（大塚）が所有する田んぼに、今年も菜の花で文字が浮き上がりました。

遠藤さんが毎年取り組んでいるもので、今年のテーマは大山開山1300年。平成30年の開催に向け、機運を高めようと昨年10月下旬に菜の花の種をまきました。

遠藤さんは「大雪の影響で低温となり、発芽不良をおこして管理が大変でした。みんなに関心をもってもらえたらうれしい」と話されました。



▲「祝大山開山1300年未来へつなげ」
(写真は金田保志さん提供)